

鳥井小学習発表会！

～やさしくなかよく 一人一人ががんばって みんなが笑顔の 鳥井っ子～

11月20日(土)、学習してきた成果をステージ発表する「鳥井小学習発表会」を体育館で開催しました。

オープニングでは、1年生9名が、歌や鍵盤ハーモニカの演奏を入れながら元気いっばいに歓迎のあいさつを行いました。

続いて1年生が「おとうとねずみチロとにぎやかなきょうだいたち」を発表しました。国語で学習した話を、鳥井小1年生バージョンにアレンジしたものです。一人一人が可愛いネズミさんになりきって、元気いっばい演技するだけでなく、チョッキを着せる自然な動きや小道具や背景の出し入れを自分たちで協力して発表しました。



2年生は「どうぶつのひみつ」です。国語の時間や図書館で調べた動物の秘密を、クイズ形式にして発表しました。図鑑で調べ見つけた『知ってびっくり』の動物の秘密を、歌



と踊りを織り交ぜながら楽しく発表しました。2年生の元気いっばいの声が体育館中に響いていました。



3、4年生は、総合的な学習で学んだ鳥井町特産の「ぶどう」をテーマに「たくさんのありがとうをこめて」と題して発表しました。先輩たちから引き継いで長い間観察してきたぶどうの木でしたが、今年は害虫が大量発生してしまいました。その原因を生産農家やJAさんに聞いたところ、長年無農薬できたことが今年の害虫大発生の原因ではないかと

ということでした。また、木自体の寿命が来ているということから、木を切ることになったことをストーリーとして発表し、最後はぶどうの木に手紙を送り発表を終えました。



5年生は、国語の学習から宮沢賢治の世界～注文の多い料理店～を発表しました。台詞の量が多い発表でしたが、声の調子、抑揚などの工夫、振付を入れた発表に、自然と賢治の世界に引き込まれていくようでした。何回立ってもステージ発表は緊張すると言っていた子どもたちですが、本番の堂々とした演技に高学年の頼もしさを感じました。



6年生は、修学旅行、総合、国語の物語の学習から、平和について学んできたことを「ヒロシマのうた」と題して発表しました。広島への原爆投下という悲惨な出来事から、二度と原爆を、そして戦争を起こしてはならない強い決意を、台詞と歌に込めて発表しました。最高学年としての堂々とした演技、そして熱い思いが伝わり、感動の発表となりました。

また、最後に、5、6年生による合奏「キリマンジャロ」を披露し、学習発表会を締めくくりました。



今年度「鳥井っ子フェスタ」から「鳥井小学習発表会」へ名称を変更し、それぞれの学年で学習してきたことを発表する場としました。保護者の皆様の感想からは、「学年ごとに成長が見られた発表だった。」「学んできたことがよく分かった。」「6年生は、一人一人の朗読から原爆の恐ろしさが伝わった。表現力が素晴らしかった。」など温かい言葉を多くいただきました。感染症拡大のため、まだまだ教育活動に制限が続いている中ですが、子どもたちは日々の学習に、そして学習発表会にと一生懸命取り組んできました。台詞や演技一つ一つに自分たちで工夫して取り組み、発表をやり遂げた達成感を得て、また一つ子どもたちが成長したように感じます。このように、子どもたちが生き生きと活躍できるのも、学校を支えてくださる、地域や保護者の皆さまのご理解、ご支援があってこそと、改めて深く感謝しております。ありがとうございました。